

学校名	福島県立会津工業高等学校	校長	二瓶 益幸
住所	会津若松市徒之町1-37		
TEL	0242-27-7456	ホームページアドレス	http://www.aizu-th.fks.ed.jp/htdocs/

パソコン甲子園への取組 ～本選出場を目指せ！会工生の挑戦～

取組の概要

2003年より会津大学等によって主催・運営されるパソコン甲子園。本校では、毎年情報技術科の生徒が中心となって取り組み、参加してきました。昨年度は、3年生がプログラミング部門とモバイル部門で予選を突破し、本選へと進出しました。

内 容

パソコン甲子園とは、コンピュータ理工学が専門の会津大学等によって主催・運営される大会です。高校生と高等専門学校生（3年生まで）がプログラミング能力をはじめ、情報処理技術におけるアイデアや表現力等を競い合い、その経験を通して知識と技術を高めるICT分野の全国大会です。3つの部門があり、以下のとおりです。

プログラミング部門

問題に対する解答プログラムの合計得点で競い合う競技。同一学校の2名の生徒でチームを構成し、各チームにつき1台のコンピュータが使用でき、プログラミング言語はC、C++、Javaとなっています。予選では全国から622チームが参加し、本校を含む24チームが本選に進みました。本選では難易度の違う10問100点満点の問題に挑み、本校のチーム「島神」も奮闘しました。



モバイル部門で発表をする会工生

モバイル部門

テーマに基づいたアプリケーションを企画・開発し、その総合的なプロデュース力を競い合う競技。予選に35チームが参加し、本校を含む8チームが本選に進みました。本選では本校のチーム「磐梯 SUN」が作品名「おねだりアプリ」を持ち時間5分のプレゼンテーション、チームブースでのデモンストレーションとアピールしました。

いちまいの絵CG部門

CG（コンピュータグラフィック）の作品を、テーマに基づき制作する部門です。本校からの出場はありませんでした。

残念ながら、本校からの出場チーム「島神」「磐梯 SUN」は入賞はできませんでした。しかし、福島県内でも数校しか本選出場できなかった中の一校として、全国強豪校と競い合ったことは、参加生徒にとって貴重な経験であり誇りとなりました。2015年度も参加し、連続本選出場を目指し挑戦します。

参加者の感想

本選に出場した生徒の感想です。

- ・最後の挑戦だったので、本選に出場できてよかったです。
- ・挑戦3年目で本選に出場できて本当にうれしかったです。
- ・楽しくプレゼンできたが、入賞できなくて残念でした。
- ・3年間頑張って高校最後の本選に出場できてうれしかったです。
- ・どのチームもレベルが高くとても勉強になりました。